

つながり

2018
/ 06

最新のがん治療

ーがんとともに生きるを支えるー



地域がん診療連携拠点病院です

がん診療連携拠点病院は専門的ながん医療の提供を行う病院として、全国に401カ所、宮城県には7カ所が指定されています。当院は宮城県北医療圏の拠点として高度ながん診療を行うために各領域の手術・化学療法・放射線治療の専門医や専門・認定看護師、薬剤師などの人材を配置しています。

さらに、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などを行う体制を整備し、がん診療の充実を図っています。

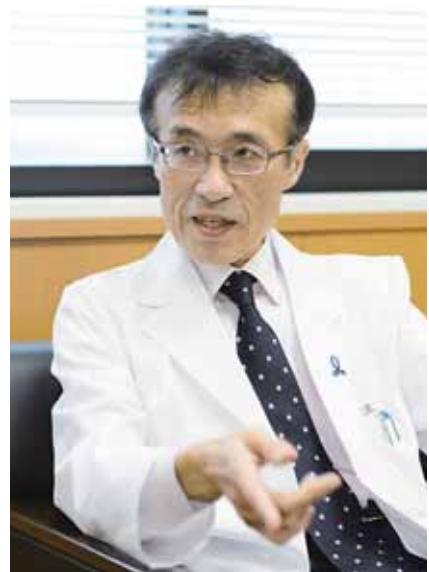
目次

座談会　がん治療－薬剤の進歩と分子診断	1p-2p
がん薬物療法の進歩と開発－当院での最新のがん治療について－	3p-4p
サテライトファーマシー（薬剤部）／部門紹介「5階西病棟」	5p
がんとの正しいつきあい方を学ぶ	6p
地域の医療機関のご紹介	7p

ご自由に
お取り
ください

座談会 がん治療—薬剤の進歩と分子診断

腫瘍内科
病理診断科
坂元和宏
井草真紀夫
蒲生宏



蒲生 真紀夫 副院長

という遺伝子に異常がある肺がんに特異的に効果のある分子標的薬が登場し、それらの患者さんでは1年を超える長期生存が可能となりました。最近では新世代のEGFR-TKIの出現や、ALK、ROS1という遺伝子変異診断とそれに対する分子標的薬剤の登場により、より長期の生存が可能となつております。当院でもこれらの分子標的薬の内服治療で長く元気で生活されている肺がん患者さんがたくさんおられます。



井草 龍太郎 副部長

の傷（変異）の性質が詳細にわかるようになり、さらにその壊れたアクセルを抑える薬（分子標的薬）が次々と開発されているのですね。

坂元先生、がんの組織診断と分子診断（遺伝子変異診断）について、当院での状況を教えてください。

がん治療には正確な病理診断が不可欠

蒲生 治療が難しい進行がんですが、がん薬物療法は急速に進歩しています。本日は当院でのがん治療の現状について話し合つてみようと思います。参加者は肺がんの治療を担当している呼吸器内科医の井草先生、がんの組織診断、分子診断の責任者である病理診断科医の坂元先生、それからがんの薬物療法全般を担当している腫瘍内科医の私、蒲生です。

早くお願いします。

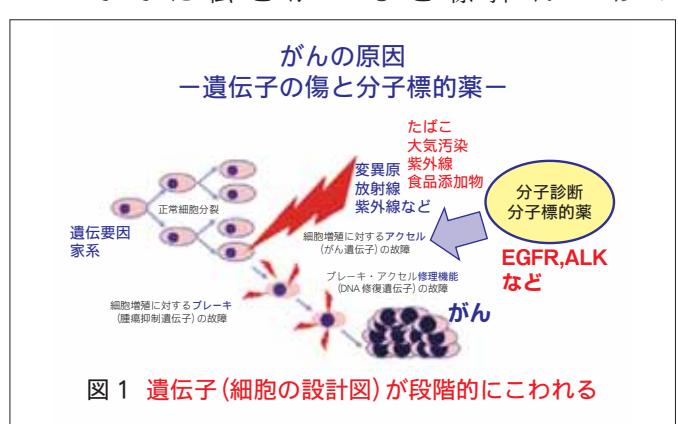
早くですが、井草先生、最近目覚ましい進歩が見られる肺がん治療ですが、当院での状況について教えてください。

目覚ましい進歩の肺がん治療

蒲生 そうですね、肺がんに関しては、がんの遺伝子変異診断によつて治療薬が選択される時代ですね。ひとまとめに肺がんの治療というより、○○遺伝子に変異がある肺がんのそれぞれの治療を考えるということですね。図1のように、がんという病気はもともと細胞の遺伝子の設計図の一部に傷がついてブレーキが壊れたり、アクセルが壊れたりして暴走して腫瘍が広がつてしまふわけです。この遺伝子

坂元 正常の細胞が、がんになると形が崩れて、正常構造とは違つた組織になつてしまします。私は顕微鏡で細胞の形を調べて、その形が正常からどれくらい離れているかによって、がんかどうかを診断しています。この作業を病理診断と呼んでいます。

また、がんにも色々な種類があつて、その形から色々な名前が付けられています。井草先生が先ほど言っていたように、近年では同じ肺がんであつても遺伝子変異のタイプにより、薬剤の効き目が異な



ることがわかつてきました。遺伝子変異検出の検査は特殊な技術と機械を必要とするので、当院で作成した病理標本を外部の検査会社に送付して実施しています。



蒲生

なるほど、がんの確定診断から、適切な治療薬の選択まで最も重要なポイントで正確な病理診断が不可欠なのですね。ところで、分子標的薬に加え、最近では新しい免疫療法である免疫チェックポイント阻害薬を用いたがん治療が多くのがん領域で導入されています。（6ページで解説）がん細胞は免疫の力にブレーキをかけて増殖してしまいます。最近、このブレーキを解除する薬剤がいくつか開発され、標準治療として様々ながらんに使えるようになっています。井草先生、当院での肺がんの治療状況について教えてください。



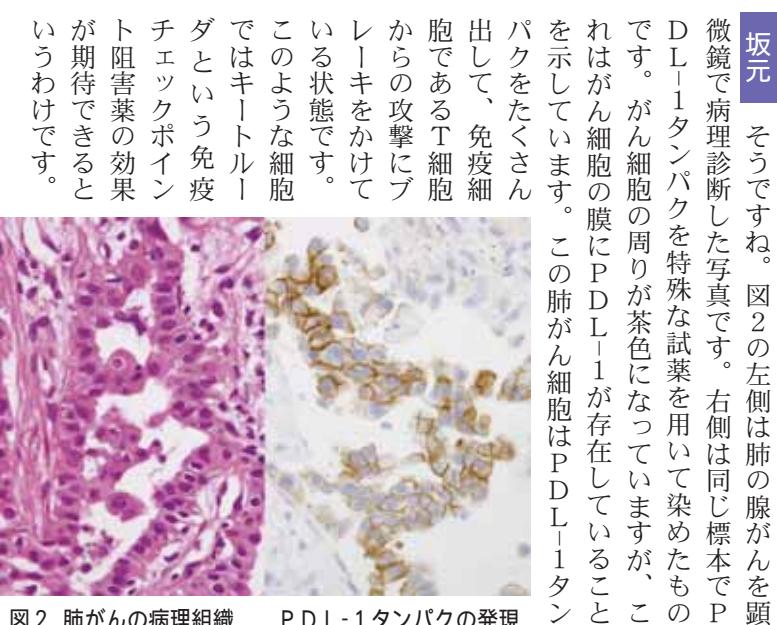
坂元 和宏 部長

当院における最新のがん治療

井草

当院では2016年1月からニボルマブが60件、ペンブロリズマブが20件近く行われています。免疫チェックポイント阻害薬は現在ニボルマブとペンブロリズマブが使用されていますが、特にペンブロリズマブはがんのPDL-1というタンパク質の発現量により、ある程度効果が予測できます。そのため現時点では肺がんのPDL-1の発現診断が治療選択に重要な役割を果たしています。

蒲生 坂元先生、この診断の際も病理診断科医の結果たす役割が重要ですね。



坂元

そうですね。図2の左側は肺の腺がんを顕微鏡で病理診断した写真です。右側は同じ標本でPDL-1タンパクを特殊な試薬を用いて染めたものです。がん細胞の膜にPDL-1が存在していることを示しています。この肺がん細胞はPDL-1タンパクをたくさん出して、免疫細胞であるT細胞からの攻撃にブレーキをかけている状態です。

このような細胞ではキートルーダという免疫チェックポイント阻害薬の効果が期待できるというわけです。

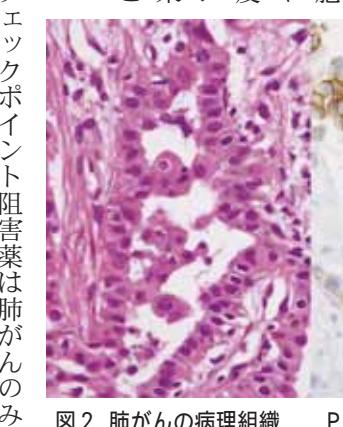


図2 肺がんの病理組織 PDL-1タンパクの発現

蒲生 免疫チェックポイント阻害薬は肺がんのみならず、胃がんや悪性黒色腫、その他にも泌尿器科領域のがんなどにも標準治療として用いられるようになり、当院でも広く用いられています。もちろんこれらの治療もがんの種類や治療の段階に応じて効果は限定的であり、夢の治療と言うわけではありませんが、こうして毎年少しづつ、がん治療は確実に進歩しています。

これからも当院では最新のがん治療を地域の患者さんに提供できるよう、各領域の専門医や看護師、薬剤師などの専門職集団がスクラムを組んで治療にあたっていきたいと思います。

井草先生、坂元先生、本日はどうもありがとうございました。

がん薬物療法の進歩と開発 —当院での最新のがん治療について—

患者さんやそのご家族から、テレビやマスコミで取り上げられた新薬や先進医療、民間医療について質問を受けることがあります。このページではがんの標準治療とその開発の過程について説明します。

標準治療とは？

標準治療は多くのがん治療の主役です。標準治療とは平均的な治療ではなく、科学的根拠に基づいた最新で最も治療成績の優れた治療です。後述する臨床試験という難関を突破してきた、その時代のがん治療のチャンピオンです。肺がん、胃がん、大腸がんなどそれぞれの種類のがんに複数の標準治療があり、がん拠点病院を中心とした国内のがん専門病院で多くの患者さんに使われています。



臨床試験・治験治療とは

臨床試験とは今の標準治療よりさらに優れているかも知れない薬剤の組み合わせの治療法を開発するために、患者さんに参加してもらい行っている治療です。多くの場合、国内外の複数のがん治療専門病院で構成される臨床試験グループで実施されます。試験治療は標準治療に勝負を挑むチャレンジャーです。この臨床試験の結果で標準医療よりも優れた治療であると、次の標準医療（チャンピオン）が誕生します。

治験も臨床試験の一部ですが、治験薬はまったく新たに開発された新規の薬剤です。新薬としての期待が大きい一方、患者さんの使用経験の少ない新規治療ですから、より慎重で綿密な経過観察を行います。研究的な段階の治療ですから、治験薬（新薬）は開発を行っている製薬企業から無償で提供され、患者さんの治療費負担はありません。治験治療が良い治療成績を示した場合には、製薬企業は厚生労働省に健康保険の認可を申請して、新たな標準治療の選択肢として多くの患者さんに使用できるようになります。当院でもがん治療の未来を切り開くために、多くの国際臨床試験や、開発治験に参加しています。

あなたのがん治療が臨床試験や治験に該当するかどうかは主治医にお尋ねください。

重粒子線治療
がんゲノム医療

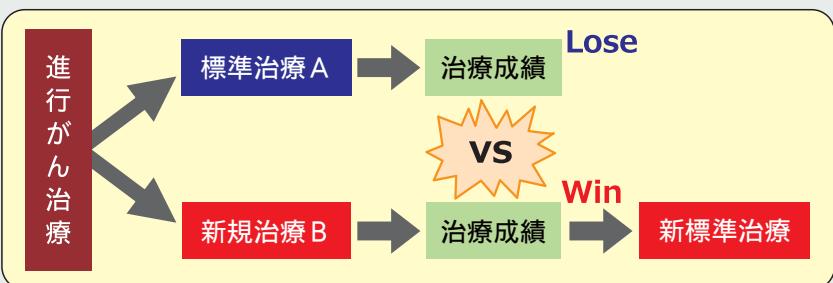
光免疫療法

先進医療とは？

先進医療は新しく開発された治療で、健康保険を適用するための評価段階の治療です。特定の条件を満たす、一部の限られた条件のがん治療に用いられます。標準治療が確立していない状態のがんなどに用いられることが多い、また特定の機器や技術を用いるため、施行する施設も限られています。その患者さんはまる場合に、希望があれば紹介状を持って施行施設を受診して相談してもらいます。



内・国際臨床試験や、開発治験に参加しています。
あなたのがん治療が臨床試験や治験に該当するかどうかは主治医にお尋ねください。



免疫療法？

民間療法？奇跡の治療？

新聞広告やインターネット広告、書店のがん治療コーナーなどを見ると、特別な有効性をうたつたがん治療が山のように溢れています。

患者さんの中にも時々、親戚の〇〇さんが進められました、などとおっしゃる方がおられます。中には昔から有名な〇〇ワクチンとか、〇〇免疫クリニックなどの民間クリニックもよく宣伝されています。これらの治療はTV番組で取り上げられたり、患者さんの経験談を掲載したりしていますが、実際には科学的根拠が乏しい治療であることが多いです。前述のような臨床試験が行われないまま経験的に使われているため、厚生労働省への保険申請も何年経っても行わらず、自費診療として続いている。中には治療の難しいがん患者さんがわらにもすがりたい気持ちであることを利用したお金儲けを目的とした悪質な治療もたくさん含まれているので、安易に飛びつかないことが重要です。

パンフレットやインターネットに「当院独自の」「奇跡の」「〇〇名譽教授が推薦する」という宣伝文句のある治療はかなり怪しいと思ったほうが良いかも知れません。科学的に有効性の確かな治療はがん診療拠点病院などのセンター病院を中心に行われておきます。

何でも試したい患者や家族の気持ちを利用して、根拠の薄い高額な保険外医療費を行う医療機関や業者が多くあります。
標準治療を受ける機会を失わないよう、正しい情報を得ましょう。



副作用を軽減するための薬剤も進歩しています。不必要に不安がらず、副作用との付き合い方を勉強しましょう。担当の医療チームのスタッフ（医師、看護師、薬剤師）やがんサロンの仲間などと遠慮なく話し合いましょう。



がん薬物療法の効果と副作用

がん薬物療法には一定の副作用があり、がんの進行停止や生活の質の向上が副作用を上回るときに行われます。

良い治療を継続するためには、副作用とうまくつきあうことが大事です。

副作用を軽減するための薬剤

も進歩しています。不必要に不安がらず、副作用と

担当の医療チームのスタッフ（医師、看護師、薬剤師）やがんサロンの仲間などと遠慮なく話し合いましょう。

サテライトファーマシー(薬剤部) ～安全で質の高い治療を目指して～



サテライトファーマシーでは、主に外来・入院患者さんに処方された抗がん薬の調製を行っています。また、数多く存在する抗がん薬治療を適切に行えるよう、薬剤の投与を時系列に示したレジメン（治療計画）の管理・登録も行っています。治療当日には、検査値や薬剤の投与量、休薬期間、併用薬の有無などを調製前に確認しています。患者さんと直接顔を合わせる業務ではありませんが、安全な治療が実施できるようサポートを行っています。

部門紹介 「5階西病棟」～がん治療を支える～



患者さんの病気が快方に向かうように、院内ではたくさんの職員が働いています。その様子を紹介します。

5階西病棟では、主にがん患者さんの化学療法や放射線療法、支持療法などを行っています。腫瘍内科20床と腎臓・内分泌内科5床、内科的治療のための共有病床14床の計39床の混合病床です。治療や療養生活への不安やからだと気持ちのつらさに対して、医師をはじめ看護師、薬剤師、臨床心理士、管理栄養士、リハビリ専門職、医療ソーシャルワーカー（相談員）などの多職種と治療方針を共にしながら必要なサポートを検討し苦痛緩和のケアを提供しています。また、外来部門や地域の在宅医療スタッフとも連携を図り、患者さんとそのご家族が希望する時期・場所で切れ目のない適切ながん医療を受けられるよう努めています。17床の個室内や廊下は、暖色の木目調で温かみを感じる空間になっています。

不安なことや疑問に思うことがあります。したら、お気軽にお声がけください。

緩和ケア認定看護師について

当病棟には、緩和ケア認定看護師が1名配置されており、がんと診断されたときから多職種によるチームアプローチを基盤として個々の患者さんの全人的なケアを目指して取り組んでいます。

病気や治療による症状緩和を図り、患者さんやそのご家族の希望を支え、病を患つてからも、"その人らしく"できるだけ良い状態で治療や生活が続けられるよう、スタッフと共に心を込めてケアさせていただいている。

がんとの正しいつきあい方を学ぶ

い。お問い合わせください。



がん相談支援センターについて

当院のがん相談支援センターでは療養中のさまざまなもの（診断治療の説明内容、経済的不安、心理的不安、職場での就労など）の相談を受け付けています。また、当院は地域がん診療連携拠点病院であるため、当院以外で治療中の患者さんやその家族でも相談をすることができます。お気軽に問い合わせください。



セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンとは、主治医やその病院の診療チームの治療方針について、第三者の客観的な意見を聞いたときに、ほかの病院の医師などに相談することをいいます。セカンドオピニオン受診を希望される場合は、当院での検査や画像データ、治療方針などをまとめてお渡しますので、遠慮なく主治医に相談してください。大学病院や国立がんセンターなどの「セカンドオピニオン外来」などでは、より客観的な意見を聞くことができます。



えで最も適した治療法を見つけられるよう、セカンドオピニオン制度を上手に利用しましょう。

新たな標準治療としての がん免疫療法

私たちの体の中の免疫機構には本来がん細胞の増殖にブレーキをかける力が備わっています。しかしがん細胞はその免疫の力にブレーキを掛ける信号を出して増殖してしまいます。最近、そのブレーキをかける分子を阻害する新薬がいくつか開発され、標準治療としてさまざまながんに使えるようになっています。二ボルマブやペンブロリズマブなどのこれらの薬剤は、民間の〇〇免疫クリニックなどとは違い、国際的な治験・臨床試験を経て開発された新しい標準治療の一つです。



地域の医療機関のご紹介

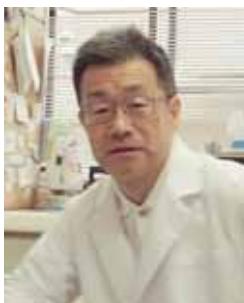
当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、日々当院と交流のある登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

塩沢整形外科クリニック

診療科目：
整形外科・リウマチ科・リハビリ
テーション科
〒989-6221
大崎市古川大宮7-7-33
TEL:0229-21-1666
受付時間：
午前9時～正午
午後2時30分～午後5時30分
休診日：日・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	-
午後	○	○	○	-	○	-	-

●院長 塩澤廣重先生



地域の
みなさんへ

当クリニックは、大崎市立古川第四小学校の通りで整形外科を開業して20年になります。当院では主に膝痛、腰痛などの慢性の痛みに対し機能回復のためのリハビリテーションやプロック、また捻挫、骨折などのけがに対し手術以外の装具やギプスなどの治療を行っております。

また高齢化で元気なお年寄りが増えていますが、年齢と共に骨の密度は減少し骨折をおこしやすくなるのも事実です。ささいなけががもとで寝たきりになることも少なくありません。当院では骨密度を測ることにより将来の骨折の危険性を把握し、骨粗しょう症の予防になるよう努めています。

大崎市民病院、あるいは仙台の各分野の専門医とも連携を密にとっていますので、お気軽にご相談下さい。



●院長 玉手英一先生

地域の
みなさんへ

当病院は、穀倉地帯・大崎平野の南東に位置し、ゆったりとした環境の中、地域の住民の皆様への医療活動や健康管理の支援を行っています。

普段の外来・病棟での診療だけでなく、通院することの困難な患者様への訪問診療や地域住民の検診、人間ドックなども行っております。

公立病院としての役割を果たし、地域の皆様から信頼される医療を提供できるよう心掛けております。

美里町立南郷病院

診療科目：
内科・外科・小児科(毎週水曜)
眼科(予約制)
整形外科(予約制)
〒989-4205

遠田郡美里町木間塚字原田5

TEL:0229-58-1234

受付時間：

午前8時30分～午前11時

午後0時30分～午後3時

休診日：

土・日・祝日・年末年始

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	-	-
午後	○	○	○	○	○	-	-

つながり

大崎市民病院広報誌「つながり」No.13
2018年6月発行
次回発行は2018年8月の予定です

大崎市民病院

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目8番1号
TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380 URL <http://h-osaki.jp>

大崎市民病院

検索